

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

資料1-1

令和5年1月6日

協議会名: 美濃加茂市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持改善国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)	
【補助対象となる事業者名等の名称を記載】	【系統名・航路名・設備名、運行(航)区間、整備内容等を記載(陸上交通に係る確保維持事業において、車両減価償却費等及び公有民営方式車両購入費に係る国庫補助金の交付を受けている場合、離島航路に係る確保維持事業において離島航路構造改革補助(調査検討の経費を除く。)を受けている場合は、その旨記載)】	【事業評価の評価対象期間において、前回の事業評価結果をどのように生活交通確保維持改善計画に反映させた上で事業を実施したかを記載】	A・B・C評価	【計画に基づく事業が適切に実施されたかを記載。計画どおり実施されなかった場合には、理由等記載】	A・B・C評価	【事業の今後の改善点及びより適切な目標を記載。改善策は、事業者の取り組みだけでなく、地域の取り組みについて広く記載。特に、評価結果を生活交通確保維持改善計画にどのように反映させるか(方向性又は具体的な内容)を必ず記載すること。】 ※なお、当該年度で事業が完了した場合はその旨記載
新太田タクシー株式会社	あまちの森・しようよう線 (美濃太田駅南口～わらべ村～美濃太田駅南口)	アンケート結果や課題を踏まえ、可能な限り、コミュニティバスと鉄道の乗り継ぎ易さに配慮するなど、継続的にダイヤ改正を実施。また、バスに親しむ日、出前講座の実施に加え、利便性の高いデジタルサービス(バスロケ、キャッシュレス決済、モバイルチケット)の提供を推進するなど、地域公共交通の利便性及び効率性の向上に努めている。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	B ・年間利用者数 目標値/20,360人 実績値/17,901人 達成率/87.92%(未達成) ・未達成の理由:コロナ禍第6波を受け、市内高校の休校や公共施設の休館により、外出制限や外出自粛の影響を大きく受けた利用者が多かったため。	運行の継続に加え、継続的なダイヤ改正により利便性の確保に努める。また、利用促進策(懇談会、バスに親しむ企画、新サービスの検討など)を推進し、公共交通利用への関心や意識向上を図るとともに、目標達成に向け、未利用者に対し、利用を促す企画やPRを実施するなど、新規利用を高めていく。	
新太田タクシー株式会社	フルーツ山之上線 (美濃太田駅北口～山之上交流センター～総合福祉会館～美濃太田駅北口)	アンケート結果や課題を踏まえ、可能な限り、コミュニティバスと鉄道の乗り継ぎ易さに配慮するなど、継続的にダイヤ改正を実施。また、バスに親しむ日、出前講座の実施に加え、利便性の高いデジタルサービス(バスロケ、キャッシュレス決済、モバイルチケット)の提供を推進するなど、地域公共交通の利便性及び効率性の向上に努めている。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	A ・年間利用者数 目標値/6,890人 実績値/7,958人 達成率/115.50%(達成)	運行の継続に加え、継続的なダイヤ改正により利便性の確保に努める。また、利用促進策(懇談会、バスに親しむ企画、新サービスの検討など)を推進し、公共交通利用への関心や意識向上を図る。	
新太田タクシー株式会社	フルーツ蜂屋線 (美濃太田駅北口～蜂屋交流センター西～美濃太田駅北口)	アンケート結果や課題を踏まえ、可能な限り、コミュニティバスと鉄道の乗り継ぎ易さに配慮するなど、継続的にダイヤ改正を実施。また、バスに親しむ日、出前講座の実施に加え、利便性の高いデジタルサービス(バスロケ、キャッシュレス決済、モバイルチケット)の提供を推進するなど、地域公共交通の利便性及び効率性の向上に努めている。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	A ・年間利用者数 目標値/6,890人 実績値/7,207人 達成率/104.60%(達成)	運行の継続に加え、継続的なダイヤ改正により利便性の確保に努める。また、利用促進策(懇談会、バスに親しむ企画、新サービスの検討など)を推進し、公共交通利用への関心や意識向上を図る。	
新太田タクシー株式会社	さとやま線 (美濃太田駅北口～上廿屋～美濃太田駅北口)	アンケート結果や課題を踏まえ、可能な限り、コミュニティバスと鉄道の乗り継ぎ易さに配慮するなど、継続的にダイヤ改正を実施。また、バスに親しむ日、出前講座の実施に加え、利便性の高いデジタルサービス(バスロケ、キャッシュレス決済、モバイルチケット)の提供を推進するなど、地域公共交通の利便性及び効率性の向上に努めている。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	B ・年間利用者数 目標値/11,170人 実績値/10,345人 達成率/92.61%(未達成) ・未達成の理由:コロナ禍第6波を受け、市内高校の休校や公共施設の休館により、外出制限や外出自粛の影響を少なからず受けた利用者がいたため。	運行の継続に加え、継続的なダイヤ改正により利便性の確保に努める。また、利用促進策(懇談会、バスに親しむ企画、新サービスの検討など)を推進し、公共交通利用への関心や意識向上を図るとともに、目標達成に向け、未利用者に対し、利用を促す企画やPRを実施するなど、新規利用を高めていく。	